

令和2年度

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

資 料

目 次

I 令和元年度の取組実績について

1	会議の開催	1
2	重点取組事業	
(1)	おかやま・もったいない運動の推進	2
(2)	マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	5
(3)	食品ロス削減の促進	14
3	その他普及啓発事業等	18

II 令和2年度の取組（案）について

1	会議の開催	20
2	重点取組事業	
(1)	おかやま・もったいない運動の推進	21
(2)	マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	22
(3)	食品ロス削減の促進	24
(4)	プラスチック3Rの推進	25
3	その他普及啓発事業等	26

I 令和元年度の取組実績について

1 会議の開催

令和元年度岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議に係る会議を次のとおり開催した。

(1) 本会議

- ア 日時 令和元年5月9日(木) 14:30~16:30
- イ 場所 ピュアリティまきび 3階「飛鳥」
- ウ 出席者 委員、事務局
- エ 議題
 - ・平成30年度の取組実績について
 - ・令和元年度の取組(案)について 他

(2) 第1回ワーキング会議(プラスチック意見交換会)

- ア 日時 令和元年9月12日(木) 14:00~16:00
- イ 場所 県庁9階 第2会議室
- ウ 出席者 委員、事務局
- エ 議題
 - ・令和元年度の県新規事業の紹介
 - 「廃プラスチック削減に係る調査・分析事業」について
 - ・意見交換
 - ＜テーマ＞廃プラスチック削減に関する課題や効果的な進め方について

(3) おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

- ア 日時 令和元年10月15日(火) 13:00~16:30
- イ 場所 県庁9階 第2会議室
- ウ 出席者 審査員3名(平島副会長、瀧澤委員、笠原委員)

(4) 第2回ワーキング会議

- ア 日時 令和2年2月6日(木) 14:00~16:00
- イ 場所 県庁9階 第2会議室
- ウ 出席者 委員、事務局
- エ 議題
 - ・令和元年度の取組実績について
 - ・令和2年度の取組(案)について 他

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3R（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を次のとおり推進した。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

6月の環境月間及び10月の3R推進月間等に、県内3県民局が管内市町と協働で開催した。

<6月>

- 「1日環境大学」

日 時：令和元年6月1日（土） 10時15分～15時
場 所：真庭市蒜山「真庭・トンボの森」〔真庭市蒜山下和1077〕
内 容：講演、整備活動（笹刈り・階段づくり）、自然観察等
参加者数：約86人（事前予約制）

- 井原市環境フェア

日 時：令和元年6月2日（日） 9時～12時
場 所：井原駅前広場・井原駅ビル〔井原市七日市町944-5〕
内 容：体験コーナー、展示コーナー、スタンプラリー等
来場者数：約2,000人

- 「親子エコフェスタ2019」

COOL CHOICE ～未来のために、いま選ぼう～

日 時：令和元年6月9日（日） 10時30分～15時30分
場 所：アルネ津山及び津山中心商店街他〔津山市新魚町及び周辺〕
内 容：体験コーナー、展示コーナー等
来場者数：約1,000人

<9月>

- 新見みんなのエコフェスタ2019

日 時：令和元年9月14日（土） 10時～12時30分
場 所：まなび広場にいみ 小ホール〔新見市新見123-2〕
内 容：体験コーナー、展示コーナー、ステージイベント等
来場者数：約200人

<10月>

- もったいないが地球を救う～食品ロスを考える～

日 時：令和元年10月14日（月・祝） 13時～17時

場 所：西大寺ふれあいセンター [岡山市東区西大寺中二丁目]

内 容：講演、対談、展示等

来場者数：約140人

- 第14回ぐるりんクルクル～省資源・省エネルギー展～

日 時：令和元年10月20日（日） 9時30分～15時

場 所：玉野市リサイクルプラザ [玉野市槌ヶ原3072-1]

内 容：体験コーナー、展示コーナー、映画上映等

来場者数：約250人

イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト

県内の小学校、小学生とその家族を対象に、夏休みを中心とした期間に家庭でできる「3R推進」や「地球温暖化防止」に向けた取組にチャレンジした報告を募集し、優秀な取組を表彰した。

- 応募数 16校、556点
- 受賞者 個人の部（最優秀賞1名、優秀賞5名、努力賞10名）
団体の部（最優秀賞1校、優秀賞3校）

※ 表彰式（「アースキーパーのつどい2019」において開催）

- 日 時： 令和元年12月15日（日）10時40分～12時
- 場 所： 岡山コンベンションセンター
2階レセプションホール・ロビー
- 参集者： 主催者、受賞者、保護者等
- 内 容： 主催者挨拶、表彰状授与、講評、記念撮影 等



※ 作品展示会

令和元年度の受賞作品について、県内3か所で展示する。

- 倉敷会場
展示期間： 令和2年1月16日（木）～28日（火）
展示場所： クルクルセンター（倉敷市児島）
- 県庁会場
展示期間： 令和2年1月31日（金）～2月13日（木）
展示場所： 県庁1階 県民室
- 津山会場
展示期間： 令和2年2月19日（水）～27日（木）
展示場所： 津山圏域クリーンセンター リサイクルプラザ



(倉敷会場の様子)

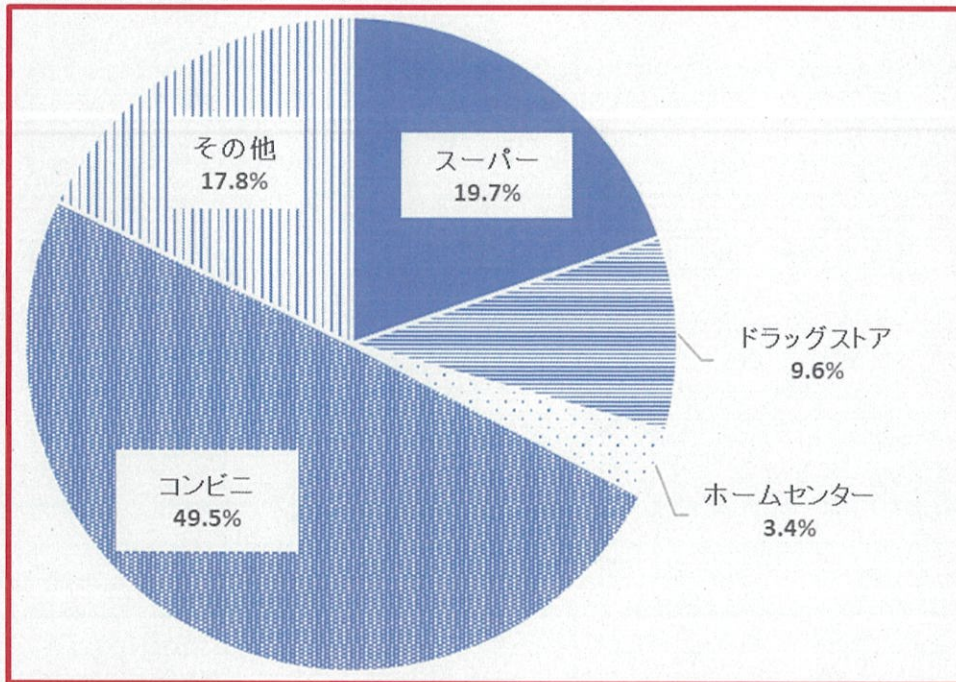
(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デーの取組について

(ア) 参加店舗の現状

現在の参加店舗数は、1,592店舗（令和2年3月5日現在）で、昨年度同期の1,578店舗に比べ14店舗増加している。

内訳は、チェーン店などのグループ店が1,420店舗（89.2%）、個人の小売店が172店舗（10.8%）で、業態別では、スーパーマーケットが313店舗（19.7%）、ドラッグストアが153店舗（9.6%）、ホームセンターが54店舗（3.4%）、コンビニエンスストアが788店舗（49.5%）、その他が284店舗（17.8%）となっている。



(イ) レジ袋辞退率の推移

令和2年2月の平均辞退率は26.3%で、4月～2月までの辞退率は、23%台～26%台となり、微増傾向にある。

実施日	H31. 4月	R元 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2. 1月	2月
平均 辞退率 (%)	23.5	23.7	24.9	24.6	23.3	26.2	25.2	25.2	26.2	25.3	26.3
スーパ- マーケットの 辞退率 (%)	23.9	24.7	25.3	25.3	24.0	26.3	25.2	25.5	26.3	25.6	26.2

(ウ) 普及啓発の状況

① 若い世代へ働きかける各種啓発を行った。

- ・小学生・・・環境学習に取り組む県内の小学校4年生約18,000人にクリアファイルを配布した。
- ・大学生・・・入学式での啓発（8大学約2,500人にマイバッグとチラシの配布）、「おかやまマイバッグキャンペーン」岡山駅啓発への参加（中国短期大学）を呼びかけた。
- ・新成人・・・成人式での啓発（23市町村約6,500人にチラシ配布）

② イベントでの普及啓発

巡回エコ製品等普及展示会やおかやま・もったいない運動推進フォーラムで、展示や来場者への啓発品の配布などを行った。



(令和元年6月2日 井原市)



(令和元年6月9日 津山市)

③ テレビ、ラジオ、広報紙等の広報媒体の活用

「岡山県統一ノーレジ袋デー」については、RSK ラジオ、FM おかやままでのお知らせ、県政広報資料、NHK データ放送、ホームページ、フェイスブック掲載などにより周知を図った。

(エ) 啓発資材の作成及び送付

啓発グッズ（のぼり旗、ポスター、ステッカー、辞退カード）を、希望する事業者（店舗）、市町村等に送付した。

のぼり旗



ポスター



ステッカー



辞退カード



イ おかやまマイバッグキャンペーンの取組について

(ア) 街頭や店頭での普及啓発活動

県循環型社会推進課、各県民局、各市町村などが主体となり事業者（店舗）や環境団体と協働して、6月と11月にJR岡山駅及び県内各参加店舗の店頭等において、チラシ及び啓発品等を配布し、普及啓発活動を実施した。

○ JR岡山駅前（6月10日）

県（備前県民局と合同）・岡山市・ごみゼロ委員・中国短期大学生



(イ) 新聞、ラジオ、広報紙等の広報媒体の活用

RSK ラジオ、NHK データ放送、ホームページ、フェイスブック等で「おかやまマイバッグキャンペーン」についてお知らせした。

また、各市町村発行の広報紙等において広報を行った。

(ウ) 啓発資材の作成及び送付

「おかやまマイバッグキャンペーン」の普及啓発を目的とし、啓発ポスターを作成するとともに参加事業者（店舗）及び市町村等に送付した。

また、「マイバッグ持参」を基調としたチラシ及びティッシュを作成し、市町村等に送付した。

ポスター



チラシ



ポケットティッシュ



(エ) 岡山県立図書館連携展示

県立図書館 1階エントランス付近において、ポスター等印刷物、関連図書等を展示することにより、普及啓発及び情報提供を行った。

- 令和元年5月21日(火)～6月16日(日)
「ごみ減量とエコライフ」
展示内容：マイバッグ運動、環境月間、食品ロス削減、海ごみ、3R等



連携展示「ごみ減量とエコライフ」(R元.5.21～6.16)

ウ マイバッグ持参率等アンケート調査について

マイバッグ持参率等を把握するため、令和2年1月～2月に県内15店舗において、アセス株式会社に委託して実施した。

- (ア) 調査数 合計3,000人(1店舗につき200人)
- (イ) 調査方法 買物客への聞き取り調査又は直接記入
- (ウ) 結果 マイバッグ持参率 50.8%

エ 県内のレジ袋無料配布中止の状況について

現在、レジ袋無料配布中止を実施しているのは、16事業者95店舗である。(県把握分)

市町村別レジ袋無料配布中止店舗一覧

*令和2年3月1日現在

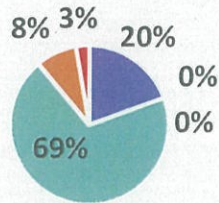
市町村名	事業者名	店舗名	備考
岡山市	イオンリテール(株)	イオン岡山店	1枚 LL5円、L3円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ大野辻	1枚 5円(募金方式)
		コープ大福	
		コープ西大寺	
		コープ東川原	
		コープ福富	
	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ東岡山店	1枚 LL5円、L3円
		山陽マルナカ福富店	
		山陽マルナカ芳田店	
		山陽マルナカ平福店	
		山陽マルナカ彦崎店	
		山陽マルナカ大元店	
		山陽マルナカ平井店	
		山陽マルナカ中井店	
		山陽マルナカ妹尾店	
		山陽マルナカ小山店	
		山陽マルナカ雄町店	
		山陽マルナカ益野店	
		山陽マルナカ郡店	
		山陽マルナカ高屋店	
		山陽マルナカ下中野店	
		山陽マルナカ平島店	
		山陽マルナカー宮店	
		山陽マルナカ建部店	
		山陽マルナカ灘崎店	
		山陽マルナカ高柳店	
	山陽マルナカ西大寺店		
山陽マルナカ築港店			
山陽マルナカ庭瀬店			
山陽マルナカ八幡店			
大黒天物産(株)	ディオ岡山北店	1枚 3円	
(株)トライアルカンパニー	スーパーセンタートライアル東岡山店	1枚 3円	

	マックスバリュ西日本(株)	ザ・ビッグ平島店	1枚 LL5円、L3円
		ザ・ビッグ奥田南店	
		ザ・ビッグ岡山一宮店	
	(株)ミスターマックス	ミスターマックス岡山西店	1枚(大)5円、(中)3円
	エコロジー&ナチュラルフーズらんらん亭	—	1枚 金額任意(募金方式)
倉敷市	イオンリテール(株)	イオン倉敷店	1枚 LL5円、L3円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ北畝	1枚 5円(募金方式)
		コープ倉敷北	
	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ中庄店	1枚 LL5円、L3円
		山陽マルナカ連島店	
		山陽マルナカ老松店	
		山陽マルナカチボリ店	
		山陽マルナカ勇崎店	
		山陽マルナカ天城店	
		山陽マルナカ茶屋町店	
		山陽マルナカ中島店	
		山陽マルナカ児島店	
		山陽マルナカ新倉敷店	
	大黒天物産(株)	ディオ真備店	1枚 5円
		(株)トライアルカンパニー	スーパーセンタートライアル倉敷店
	マックスバリュ西日本(株)	マックスバリュイオンタウン水島店	1枚 LL5円、L3円
		ザ・ビッグ倉敷店	
ザ・ビッグ連島店			
津山市	イオンリテール(株)	イオン津山店	1枚 LL5円、L3円
	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ院庄店	1枚 LL5円、L3円
		山陽マルナカ津山川崎店	
	大黒天物産(株)	ラ・ムー津山店	1枚 5円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ林田	1枚 5円(募金方式)
マックスバリュ西日本(株)	ザ・ビッグ津山平福店	1枚 LL5円、L3円	
玉野市	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ宇野店	1枚 LL5円、L3円
笠岡市	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ笠岡店	1枚 LL5円、L3円
	マックスバリュ西日本(株)	ザ・ビッグ笠岡店	1枚 LL5円、L3円
総社市	生活協同組合おかやまコープ	コープ総社東	1枚 5円(募金方式)
	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ総社店	1枚 LL5円、L3円

備前市	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ備前店	1枚 LL5円、L3円
		山陽マルナカ穂浪店	
	(株)ヒナセショッピングセンター	旬鮮食彩館パオーネ日生店	1枚 (大)5円 (小)3円
	マックスバリュ西日本(株)	マックスバリュ備前店	1枚 LL5円、L3円
瀬戸内市	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ長船店	1枚 LL5円、L3円
赤磐市	生活協同組合おかやまコープ	コープ山陽	1枚 5円(募金方式)
	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ山陽店	1枚 LL5円、L3円
	マックスバリュ西日本(株)	マックスバリュ桜が丘店	1枚 LL5円、L3円
真庭市	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ北房店	1枚 LL5円、L3円
美作市	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ美作店	1枚 LL5円、L3円
浅口市	生活協同組合おかやまコープ	コープ鴨方	1枚 5円(募金方式)
	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ鴨方店	1枚 LL5円、L3円
		山陽マルナカ金光店	
	マックスバリュ西日本(株)	ザ・ビッグ鴨方店	1枚 LL5円、L3円
和気町	岡山東農業協同組合	JAグリーン和気店	1枚 5円
		JAグリーン佐伯店	
		和気営農物流センター	
	オプタイムおか	—	1枚 5円
	(株)コメリ	コメリハードアンドグリーン和気店	1枚 5円
	(株)太陽コーポレーション	サンモール店	1枚 5円
	(株)天満屋ストア	ハピーマート和気店	1枚 5円
	(有)林薬局	林薬局	1枚 5円
(有)ビッグモリーズ	ビッグモリーズ	1枚 5円	
	マックスバリュ西日本(株)	ザ・ビッグ和気店	1枚 LL5円、L3円
早島町	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ早島店	1枚 LL5円、L3円
矢掛町	(株)山陽マルナカ	山陽マルナカ矢掛店	1枚 LL5円、L3円

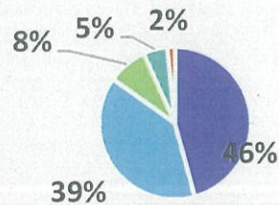
オ 岡山県統一ノーレジ袋デー参加事業者への「おかやまマイバッグキャンペーン」取組結果アンケート（令和元年12月に実施）

問1 キャンペーン期間中の変化



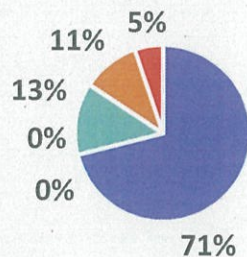
- ① レジ袋を受け取らない人(マイバッグを持参する人)が増えた。20%
- ② 苦情が増えた。0%
- ③ 万引きが増えた。0%
- ④ 特に変化はなかった。69%
- ⑤ その他 8%

問2 キャンペーン実施内容



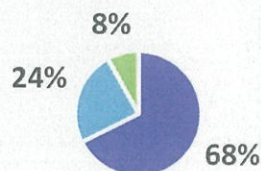
- ① ポスターの掲示 46%
- ② レジでの声かけ 39%
- ③ 店頭啓発活動の受け入れ 8%
- ④ その他 5%
- ⑤ 無回答 2%

問3 今後の取組



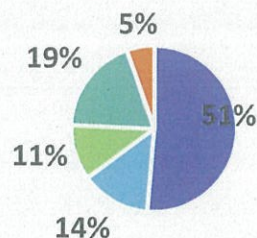
- ① 来年度も同様に6月と11月に強化月間を設ける。71%
- ② 来年度も同様に2回強化月間を設けるが、実施時期を変更する。0%
- ③ 来年度も強化月間を設けるが、実施期間や実施回数を変更する。0%
- ④ 「岡山県統一ノーレジ袋デー」(毎月10日実施)のみとする。13%
- ⑤ その他 11%
- ⑥ 無回答 5%

問4 レジ袋削減の支障



- ① ない 68%
- ② ある 24%
- ③ 無回答 8%

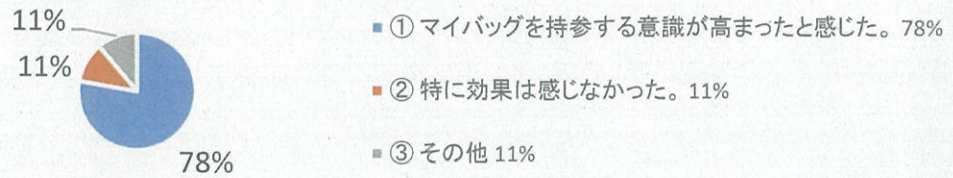
問5 無料配布中止についての考え



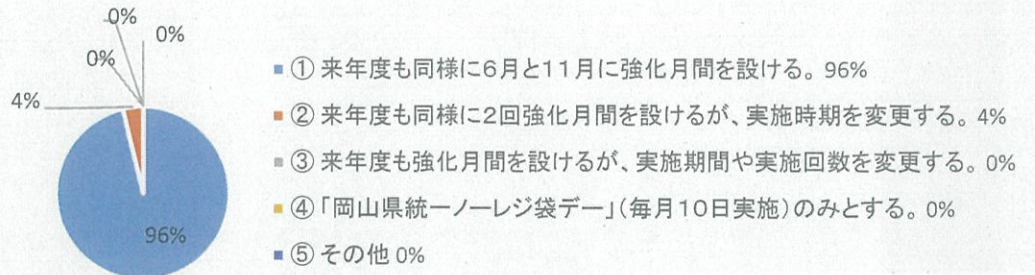
- ① 来年7月予定の国の制度に合わせる 51%
- ② 来年7月予定の国の制度以前の実施を検討中 14%
- ③ すでに実施中 11%
- ④ その他 19%
- ⑤ 無回答 5%

カ 「おかやまマイバッグキャンペーン」取組結果市町村へのアンケート（令和元年12月に実施）

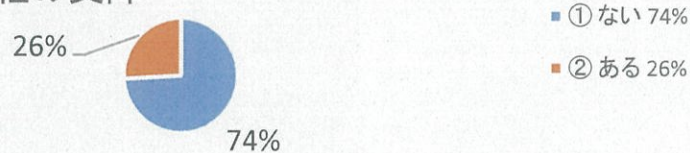
問1 キャンペーンの効果



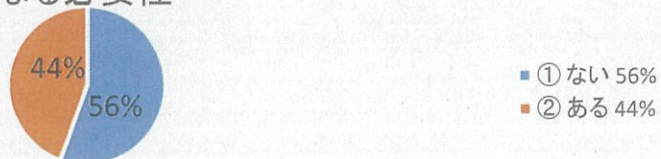
問2 今後の取組



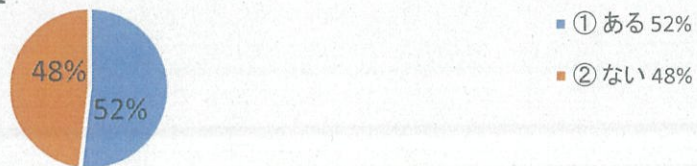
問3 レジ袋削減取組の支障



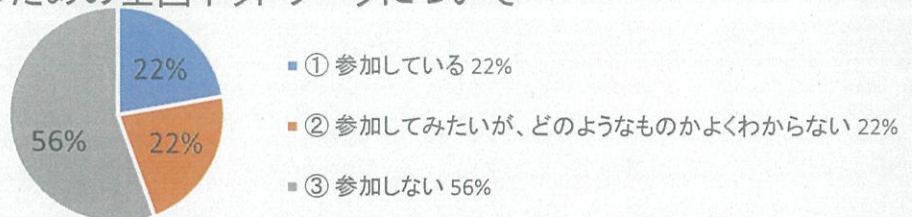
問4 レジ袋削減取組の更なる必要性



問5 食品ロス削減の取組



問6 食品ロス削減のための全国ネットワークについて



(3) 食品ロス削減の促進

日本では、年間 2,550 万トンの食品廃棄物等が出されており、このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は 612 万トンもあるといわれている。(環境省・農水省「平成 29 年度推計」)

こうした状況を受け、県でも、食品ロスの削減を県民に広く呼びかけている。

ア おかやま 30・10 運動

「30・10 (さんまる いちまる) 運動」とは・・・

- ・宴会時に最初の 30 分、最後の 10 分は席に座り、料理をおいしくいただき、食べ残しを減らす運動。
- ・平成 23 年 (2011 年) に長野県松本市が提唱し、多くの自治体に広がっている。

○夏のおかやま 30・10 運動 - のこサマ〜で〜♪

- ・取組期間：令和元年 5 月 1 日～8 月 31 日
- ・キャンペーン：佐藤副知事、部幹部が、経済団体等に対し、取組への参加要請を行った。



(令和元年 5 月 7 日 岡山県商工会議所連合会にて)

○冬のおかやま 30・10 運動 - おいしく残さず食べきろう！

- ・取組期間：令和元年 12 月 1 日～令和 2 年 1 月 31 日
- ・キャンペーン：部幹部が、経済団体等に対し、取組への参加要請を行った。
- ・「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」が行う全国一斉の「外食時の『おいしい食べきり』全国共同キャンペーン」に合わせて呼びかけを実施した。

イ 事業系食品ロス削減モデル事業

①食品ロス削減可能性調査

食品ロスの50%以上を占める事業系食品ロスについて、県内の食品ロスの発生状況や食品関連事業者の意識調査、食品取扱量の多い県内外のフードバンクのヒアリングを行い、フードバンクと連携した食品ロス削減の可能性を検討した。

②セミナー等の開催

食品関連事業者がフードバンクを利用する際の課題を整理し、フードバンク利用の意識を醸成するためのセミナーや検討会を開催した。

* 食品ロス削減検討会

- ・ 令和元年6月12日（水）
- ・ 令和元年9月5日（木）
- ・ 令和2年1月17日（金）

* 食品ロス削減セミナー

- ・ 令和元年9月5日（木） 事業者向け 44名参加



- ・ 令和2年1月26日（日） 一般向け 117名参加



③食品ロス削減コーディネート事業

試行的に、食品関連事業者とフードバンクをつなぐ食品ロス削減コーディネート事業を実施した。

ウ 地域を学んでのこさずたべよう事業

若い世代の食品ロス削減意識の醸成のため、食品がつくられるまでの労力や食品がうまれてくる地域の土壌・気候・風土等に係る研究フィールドワーク、若者の視点や発想を生かした小学生が取り組みやすい教材の作成及び小学校への出前講座等について、大学の研究室等が行う研究活動を支援した。

○山陽学園短期大学【真庭市立美川小学校・4年及び5年】

(令和元年10月4日及び25日)



○岡山商科大学【備前市立三石小学校・3年】(令和元年12月2日)



○岡山大学【里庄町立里庄西小学校・5年】(令和元年12月5日)



エ みんなでチェック！わが家のごみ - ごみ削減プロジェクト

令和元年10月1日～11月30日までの期間、食品ロス削減等を意識し、工夫しながらごみ削減に取り組んでいただくことを目的とした県民参加プロジェクトを実施した。
(参加者248名・そのうち204名が結果を提出)

オ 食品ロス削減ヒント集「食品と家計のもったいないを減らそう！」改訂版

各家庭で食品ロスを減らすポイントとなる「買いすぎず」「使いきる」「食べきる」の3つの切り口で具体的なアクションを分かりやすく記載した小冊子の改訂版を作成した。

カ 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク」との連携（事務局：福井県）

岡山県内参加自治体（9自治体）

岡山県、岡山市、倉敷市、玉野市、笠岡市、瀬戸内市、真庭市、里庄町、矢掛町

キ その他啓発

新聞広告の掲載、啓発資材の作成、ホームページ掲載等による啓発

10月は食品ロス削減月間

日本の1年間の食品ロス量 **約643万トン**
25kgパックのお米=300gパックを21,500個!!

「食品ロス」とは？
「まだ食べられるのに」捨てられている食品のことです。

食品ロスの約半分は家庭から
日本の食料自給率は概算37%。平成30年度で大半を輸入に頼っていますが、その一方で食べられる食品を大量に捨てているという現実があります。

世界の食料支援量 **約380万トン**
世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた1年間の世界の食料支援量

Let's Challenge!! 食品ロス削減を実践してみよう!

食品ロス削減ポイントとは？
「買いすぎず」「使いきる」「食べきる」

食品ロス削減ヒント集
食品と家計のもったいないを減らそう!

30・10運動 (さんまるいちまる運動)
食会時に最初の30分、最後の10分は席に寄り、食べ残しを減らす運動です。

他にも、岡山県では「食品ロス」削減のために、身近でこんな取組を行っています。

様々な取組の詳細は岡山県環境文化部循環型社会推進課ホームページにてご確認いただけます!

令和元年10月1日
山陽新聞朝刊掲載

3 その他普及啓発事業等

(1) 岡山エコ事業所認定制度の普及啓発

事業所における排出抑制、グリーン調達の促進等を図るため、岡山エコ事業所認定制度（ゼロエミッション事業所、一般事業所、小売店）の周知を図るとともに認定を実施した。

○ 認定件数（令和2年4月1日現在）	247事業所
・ 排出抑制、再利用に取り組む「ゼロエミッション事業所」	51事業所
・ 再生品を使用する「一般事業所」	40事業所
・ 再生品等を販売する「小売店」	156事業所

(2) 岡山県エコ製品認定制度の普及啓発

再生品の需用を喚起し、資源の循環的な利用を促進するため、岡山県エコ製品認定制度の普及啓発に努めるとともに認定を行った。

○ 認定件数（令和2年4月1日現在）	371製品
--------------------	-------

*巡回エコ製品等普及展示会等において、岡山県エコ製品認定制度と岡山エコ事業所認定制度のPRを同時に行った。

	(開催日)	(来場者数)
ア 井原市環境フェア（井原市）	令和元年6月2日	約2,000人
イ 親子エコフェスタ2019（津山市）	令和元年6月9日	約1,000人
ウ リサイクルフェア in 暮らしき2019（倉敷市）	令和元年10月6日	約6,000人
エ 第14回ぐるりんクルクル（玉野市）	令和元年10月20日	約250人
オ おかやまテクノロジー展2020（岡山市）	令和2年1月23～24日	10,863人

*常設展示（テクノサポート岡山）

- (ア) 展示期間 平成25年7月～
- (イ) 展示場所 テクノサポート岡山 1F（アルコープ）展示室
(岡山市北区芳賀5301)

*その他、県のホームページへの掲載、普及啓発パンフレットの作成、配布等の各種広報を行った。

(3) 海ごみ対策

平成27年度から、国庫補助金を活用し、市町村の海ごみ対策支援を実施するとともに、平成28年3月に「岡山県海岸漂着物等対策推進地域計画」を策定。

平成28年度からは、国庫補助金を活用し、市町村への補助に加え、県として普及啓発事業を実施。

ア 海と川と山、環境と文化をつなぐ美化意識啓発事業

① 災害由来の海ごみの回収・処理方法検討事業

災害に由来する海ごみの回収・処理方法について、先進事例等を収集整理した上で、対応方策を検討した。

② 三大河川流域啓発リレーの実施（県内9か所 3大河川×3団体）

三大河川流域市町村と連携し、清掃活動とともに、各地域の環境・文化等の特性を踏まえた環境学習を実施し、瀬戸内海保全宣言を行った。

③ 海ごみフォーラムの開催（県内1回開催）

自治体やNPO法人等による海ごみ対策の先進的な取組事例の紹介や、基調講演等を行うフォーラムを瀬戸内海沿岸県と連携し開催。

（令和元年11月4日開催 会場：ピュアリティまきび 参加者：220名）

④ 海ごみ啓発資材の作成、広報媒体掲載（山陽新聞2回掲載）

⑤ 海ごみ対策の県市町村連絡調整会議の開催

イ 海ごみクリーンアップ事業

市町村による海ごみの回収、処理及び発生抑制対策に係る事業費について、補助金として交付した。

（4）プラスチック3Rの推進

ア 海ごみ削減のための発生抑制対策モデル事業

海ごみの原因となる河川ごみの発生・処理状況の調査を行い、マイクロプラスチックをはじめとする海ごみ削減につながる発生抑制対策の検討を行った。

イ 廃プラスチック削減に係る調査・分析

廃プラスチックが環境に与える影響が問題とされる中、廃プラスチックの県内の排出状況や処分の状況を把握し、最終処分量の削減に向けた有効な対策の検討を行った。

ウ プラスチック製品3R推進セミナー

世界規模で環境への影響が懸念されているプラスチック問題に着目し、プラスチックの環境に及ぼす国内外の影響や、国内・県内におけるプラスチック対策への取組、産業界における取組事例等について、県民にわかりやすく周知するセミナーを開催し、県民のプラスチック製品・3Rへの意識醸成を図った。

（令和元年11月12日開催 会場：オルガホール 参加者：56名）

II 令和2年度を取組(案)について

※ 取組内容については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら検討する予定

1 会議の開催

(1) 本会議 (中止、書面開催)

- ア 日 時 令和2年5月12日(火)
- イ 場 所 ピュアリティまきび
- ウ 出席者 委員、事務局
- エ 議 題
 - ・ 令和元年度を取組実績について
 - ・ 令和2年度を取組(案)について

(2) おかやま・もったいない!小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

- ア 日 時 令和2年10月
- イ 場 所 岡山市内
- ウ 出席者 審査員4名

(3) ワーキング会議

- ア 日 時 令和3年1月下旬~2月頃
- イ 場 所 岡山市内
- ウ 出席者 委員、事務局
- エ 議 題
 - ・ 令和2年度を取組実績について
 - ・ 令和3年度を取組(案)について

(4) わたしのプラごみ削減テクニック審査選考会

- ア 日 時 令和2年10月ごろ
- イ 場 所 岡山市内
- ウ 出席者 審査員4名

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた 3R（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を実施しており、令和 2 年度は次のとおり行う。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

- 目的：

「循環型社会形成（もったいない）」をテーマに、県民が日常生活の中で実践できることを講演、活動事例発表、パネルディスカッション等を通じて提示するとともに、県の 3R 関連施策や環境団体（NPO 法人、地域団体、学校等）の活動内容について展示するブースを設置することにより、広く情報の発信・収集・交換を図る。

3 県民局ごとに実施する「環境保全普及啓発事業」に併せて実施する等地域の状況に応じた内容で実施する。

- 開催時期：令和 2 年 6 月～令和 2 年 11 月（予定）
- 会場：3 県民局管内各 1～2 箇所（予定）
- 参加者：県民、消費者・環境団体、事業所、行政職員等
- 内容：新型コロナウイルス感染拡大の状況を見ながら検討

イ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催

- 目的

もったいない精神の普及、3R に対する意識の高揚、再生品の使用促進を図るため、小学生を対象として家庭で 3R や地球温暖化防止に向けた取組を行うコンテストを実施する。

- 主催等

主催：岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

共催：地球温暖化防止プロジェクト推進会議・公益財団法人岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

- 対象者：県内に住んでいる小学生とその家族
- 募集方法：5 月下旬頃、県内全小学校に募集案内を送付
- 応募期限：令和 2 年 9 月 15 日（火）（予定）
- 取組内容：

令和 2 年 8 月 31 日までの 1 週間、小学生とその家族が、買物、食事、入

浴など家庭での日常生活を通じて、ごみの減量や省エネ等に向けた改善策を工夫し実践する。

(A) ごみゼロチャレンジ…買物や食事など、日常生活を通じた3Rに向けた取組

(B) 温暖化防止チャレンジ…電気や水の節約など、温暖化防止の取組

- 応募方法：取組結果を報告用紙に記入の上、提出

- 表彰：

(個人の部)

- ・最優秀賞 1名 表彰状・副賞(5千円相当)
- ・優秀賞 5名 表彰状・副賞(3千円相当)
- ・努力賞 10名 表彰状・副賞(2千円相当)
- ・参加賞 応募者全員

(団体の部)

- ・最優秀賞 1学校 表彰状・副賞(1万円相当)
- ・優秀賞 若干 表彰状・副賞(5千円相当)

- 選考方法：

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議委員代表による選考委員会において審査の上、決定

- 表彰式：令和2年12月(予定)に岡山市内で行う。

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デー

毎月10日を岡山県統一ノーレジ袋デーとして、マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする運動を全県的に実施する。

○ 事業者の役割

- ・レジ精算時に「声かけ」を行い啓発する。(レジ袋辞退カードの活用)
- ・店頭などに、のぼり旗、ポスター等を掲出して啓発する。
- ・「ノーレジ袋デー」当日のレジ袋辞退率を算定し、県に報告する。

○ 消費者・環境団体等の役割

- ・店舗の店頭等で、「声かけ」、「チラシ配布」などの啓発活動を行う。

○ 行政(県・市町村)の役割

- ・広報紙やポスター等の啓発資材により広報・啓発する。(県・市町村)
- ・消費者・環境団体等が行う店頭啓発活動を支援する。(市町村)
- ・統一的な啓発資材(のぼり旗、ポスター等)を作成し、配布する。(県)
- ・事業者から報告されたレジ袋辞退率をとりまとめて公表する。(県)

イ おかやまマイバッグキャンペーン

県、各市町村が主体となり、消費者・環境団体、事業者（店舗）と協力して、街頭や店頭でのレジ袋削減の普及啓発活動（PR）を実施する。

- 期間：令和2年6月及び11月
- 場所：街頭（JR等の駅前）や参加事業者（店舗）の店頭など
- 内容：
 - チラシやポケットティッシュ等の啓発グッズを配布するなど普及啓発活動（PR）を行い、一般県民（住民）に協力を呼びかける。
 - 事業者（店舗）
 - 行政からの要請があれば、店頭の一部を無料で提供
 - 声かけ、ポスター掲示等の協力
 - 消費者・環境団体等
 - 行政からの要請があれば、啓発活動（PR）に協力
 - 行政（県・市町村）
 - ・ 広報紙などへの掲載（文例は県で作成し、市町村へ提供）
 - ・ PRを行う場所の選定及び調整
 - ・ 街頭や店頭等での普及啓発活動
 - ・ 消費者・環境団体等が行う啓発活動の支援
 - ・ 普及啓発活動（PR）のプレス発表

ウ 若者層への啓発

環境学習時や自主的な買い物行動が増えていく時期に「マイバッグ持参」の意識を高める。

- ・ 小学4年生への啓発品（紙ファイル）配布（約18,000人）
- ・ 街頭啓発等への大学生の参加呼びかけ
- ・ 大学入学式での啓発（合計11大学 約4,000人にマイバッグとチラシを配布）
- ・ 各市町村成人式での啓発（チラシ等配布）

エ 啓発資材の作成及び送付

のぼり旗、ポスター、チラシ、ステッカー、レジ袋辞退カード等啓発グッズを作成し、参加事業者（店舗）、市町村等に送付する。

オ 県立図書館連携展示

令和2年5～6月頃（予定）

カ 令和2年度のマイバッグ持参率の目標値

以上の啓発活動により、「マイバッグ持参率80%以上」を目指す。

◎マイバッグ持参率等アンケート調査 <マイバッグ持参率の推移>

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
持参率	44.1	45.2	43.3	44.5	46.2	45.8	46.4	48.0	46.5	50.8
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%

(3) 食品ロス削減の促進

ア 岡山県食品ロス削減推進計画の策定検討

令和元年度末に策定された国の基本方針を踏まえ、岡山県食品ロス削減推進計画策定のための検討を行う。

イ 事業系食品ロス削減モデル事業

①食品ロス削減マッチング検討事業

食品関連事業者とフードバンクをつなぐ食品ロス削減マッチングシステムの構築を調査・検討する。

②検討会・シンポジウム等の開催

食品関連事業者がフードバンクを利用する際の課題を整理する検討会やフードバンク利用の意識醸成のためのワークショップやシンポジウムを開催する。

ウ 食品ロス削減月間キャンペーン事業

食品ロス削減推進法に定められた食品ロス削減月間である10月に、県民にとって楽しく親しみやすい方法で、食品ロス削減月間をPRするキャンペーンを行う。

エ 地域を学んでのこさずたべよう事業

若い世代の食品ロス削減意識の醸成のため、食品がつくられるまでの労力や食品がうまれてくる地域の土壌・気候・風土等に係る研究フィールドワーク、若者の視点や発想を生かした小学生が取り組みやすい教材の作成及び小学校への出前講座等について、大学の研究室等が行う研究活動を支援する。

オ 食品ロス・家庭ごみ削減ヒント集（増刷）作成

一般家庭向に食品ロスについての意識を高めるための啓発資材として、家庭で取り組める方策を提示する小冊子を作成・配布する。

カ おかやま30・10運動

宴会時に最初の30分、最後の10分は席に座り、料理をおいしくいただき、食べ残しを減らす運動につき、引き続きPRにつとめる。

キ 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク」との連携

ク その他啓発

・新聞広告の掲載、啓発資材の作成、ホームページ掲載等

(4) プラスチック3Rの推進

ア おかやまプラスチックスマート運動

①わたしのプラごみ削減テクニック

県内の住民、団体、事業所の廃プラスチック削減意識の醸成を図るため、廃プラ削減の取組状況や、実施予定の取組を募集し、応募された取組をごみゼロ社会プロジェクト推進会議で審査し、優秀な取組の応募者には賞状と賞品を贈る。

②おかやまプラスチック3R宣言事業所

県内の事業所に、従業員のマイボトル持参等や事業に伴う廃プラスチックの削減（例：プラスチック製品の不使用や、リユース、異なる素材の製品に切替え）など、プラスチック製品の3Rを宣言し取り組んでもらう。

宣言を行った事業所には登録証を交付するとともに、取組を行っていることを従業員・来客にアピールできる資材（例：のぼり旗、ステッカーなど）を配布する。

また、宣言した事業所及び取組内容をHPで公開する。

③プラスチック3Rに関する広報

①の優秀な取組をとりまとめた冊子やパンフレット等の啓発資材を作成し、県内の環境イベント等で配布するとともに、各種媒体を利用して広報を行う。

イ プラスチック3R推進セミナー

①排出事業者向けセミナーの開催

環境への影響など廃プラスチック問題の講演や、排出事業者ができる廃プラスチックのリサイクルに向けた取組について実例を交えた講演を行う。

②県民向けセミナーの開催

環境への影響など廃プラスチック問題の講演や、廃プラスチックのリサイクル促進の必要性、日常生活でできる取組について実例を交えた講演を行う。

3 その他普及啓発事業等

- (1) 岡山エコ事業所（一般事業所・小売店・ゼロエミッション事業所）認定制度や認定事業所の取組及び岡山県エコ製品認定制度を広く周知することにより、グリーン調達等の促進を図る。
- (2) 3R推進につながる各種取組の情報提供を行う。
- (3) 海ごみ対策

ア 海と川と山、環境と文化をつなぐ美化意識啓発事業

- ① 三大河川流域啓発リレー（県内9か所 3大河川×3市町村）
三大河川の流域市町村と連携し、海や河川等の清掃活動と合わせ、海と河川とのつながり、保全することの大切さについて、各地域の環境・文化などの特性を踏まえた学習活動を実施し、保全宣言を行う。
- ② 三大河川流域啓発リレーステップアップ事業（県内3か所 3大河川×1市町村）
前年度に三大河川流域啓発リレーを実施した市町村のうち、河川ごとに1か所で、啓発パネルやリレー事業で作成した保全宣言横断幕等を展示するとともに、海ごみに関するミニ講演会を開催する。
- ③ 海ごみフォーラムの開催（県内1回開催）
自治体やNPO等による海ごみ対策の先進的な取組事例の紹介や基調講演等を行うフォーラムを瀬戸内海沿岸県と連携し開催する。
- ④ 漂着ごみ組成調査事業（県内3か所）
漂着ごみが多く、地域住民による清掃活動が行われていないか頻度が少ない場所を選定し、漂着ごみの回収及び分類、計測、記録を行い、実態の把握を行う。
- ⑤ 海ごみ啓発資材の作成、広報
海ごみ対策やマイクロプラスチックの海への影響等を紹介する啓発資材の作成、広告媒体への掲載
- ⑥ 海ごみ対策県市町村連絡調整会議の開催

イ 海ごみクリーンアップ事業

市町村による海ごみの回収、処理及び発生抑制対策事業への助成を行う。